

茶業の今後の展開を考える上で 茶業に拘る将来予測は？

社会構造の変化

Keyword; グローバル化、高度情報
通信社会、少子高齢化、サービス
産業社会化、人口減少

消費者の減少、ス
トレス社会、情報
化社会

需要・供給構造の変化

Keyword; 自然健康志向、価値観・
生活様式の多様化、女性の社会
進出化、

多様化社会、小世
帯化社会、惣菜社
会、健康願望社会

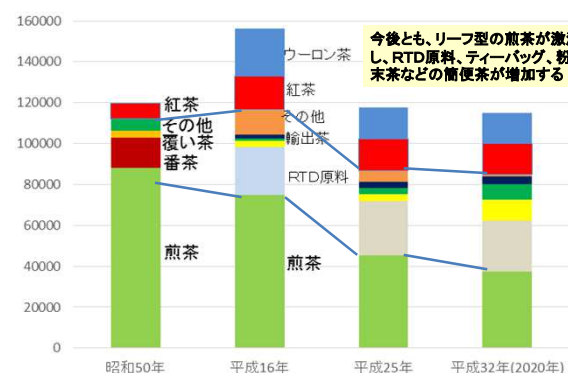
環境保全の強化

keyword; 温暖化、低炭素社会化、
自然循環機能重視型

省エネルギー、自
然保護社会

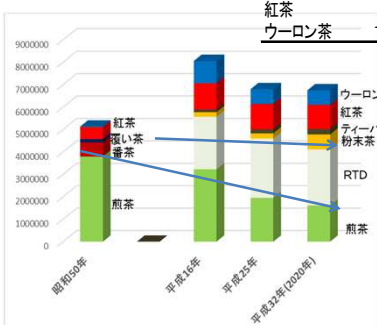
茶類の消費量の推移は

平成16年がRTDの急激な増加
などにより消費量のピーク。



茶類の飲用量の推移

各種茶の消費量を、主に食品標準成分表に基づき、中村が試算



煎茶	10g	430ml	食品標準成分表
番茶	15g	650ml	食品標準成分表
粉末茶	3g	200ml	中村推定
RTD	1g	100ml	茶業中央会推定
紅茶	5g	360ml	食品標準成分表
ウーロン茶	15g	650ml	食品標準成分表



飲用方法に変化が

現在の生活の中では
お茶を飲む風景も激変しています
⇒ **生産されるお茶も変わります**



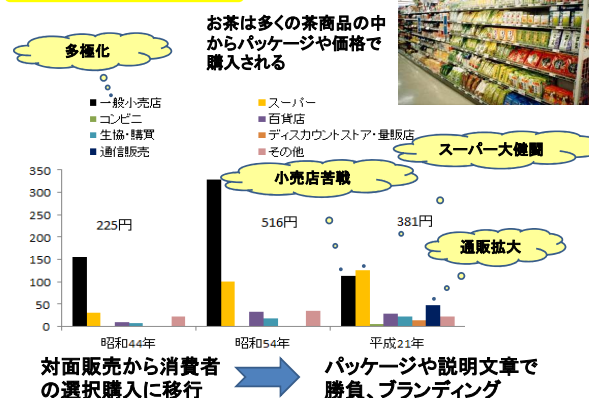
番茶 ⇒ せん茶 ⇒ 茶素材

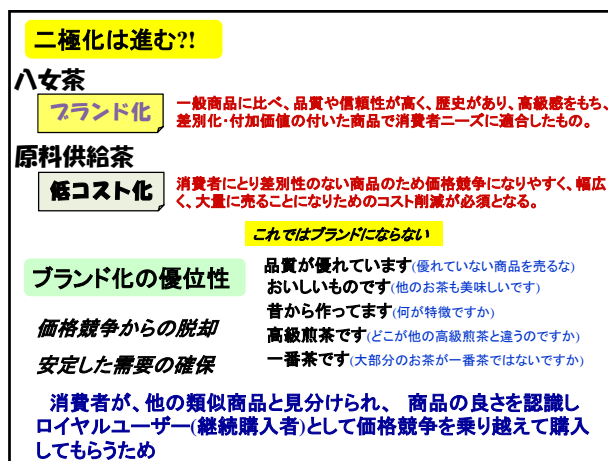
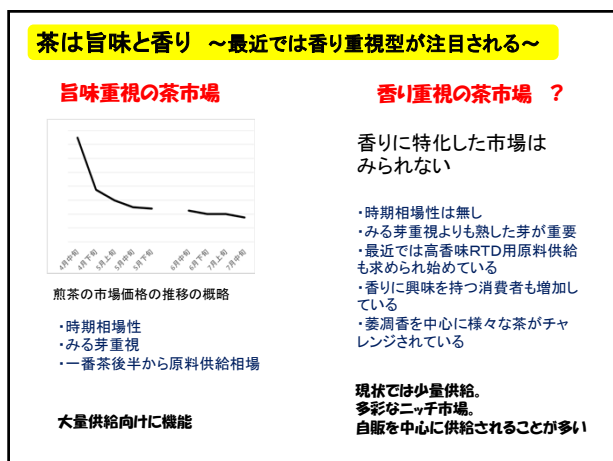
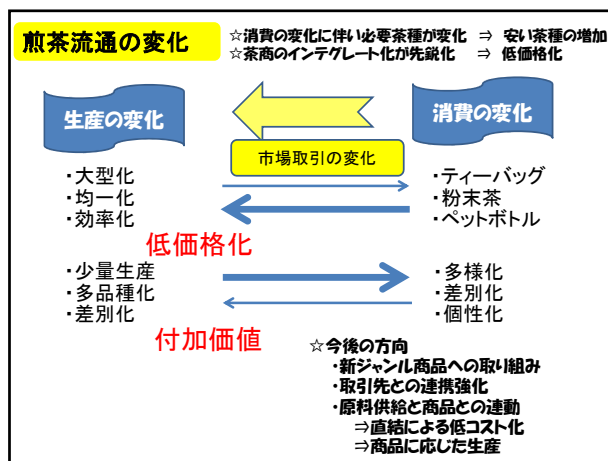
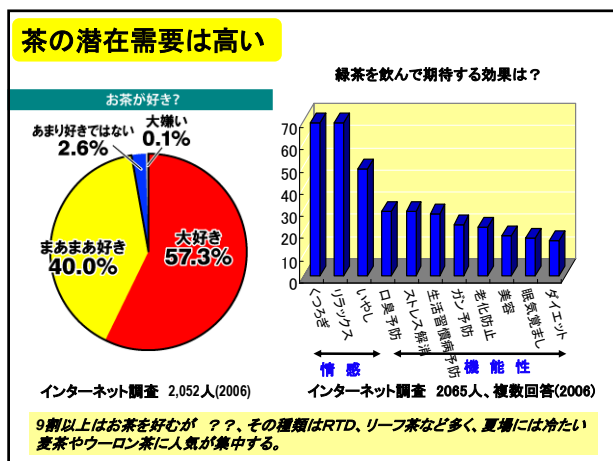
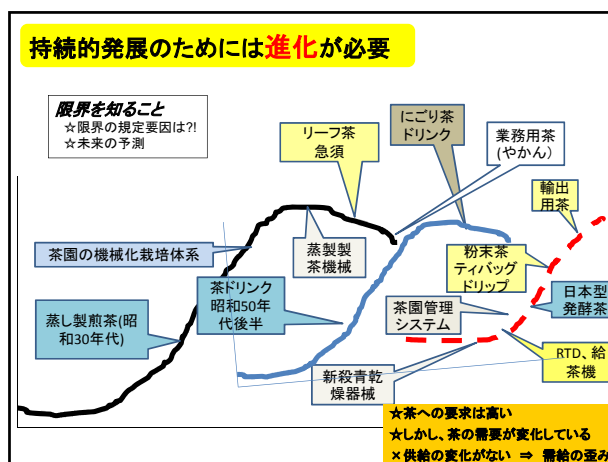
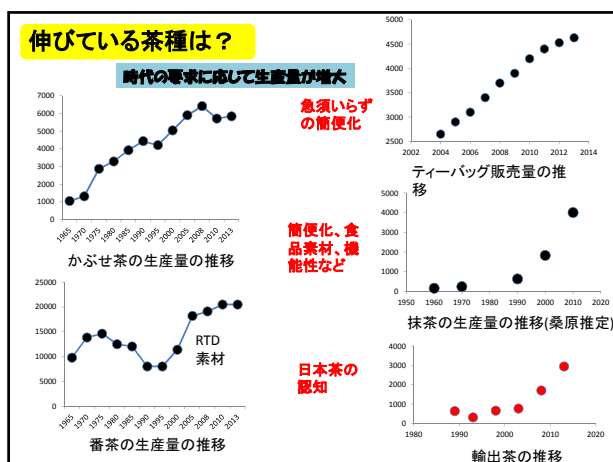
ティーバッグ、粉末茶類の利用も増加

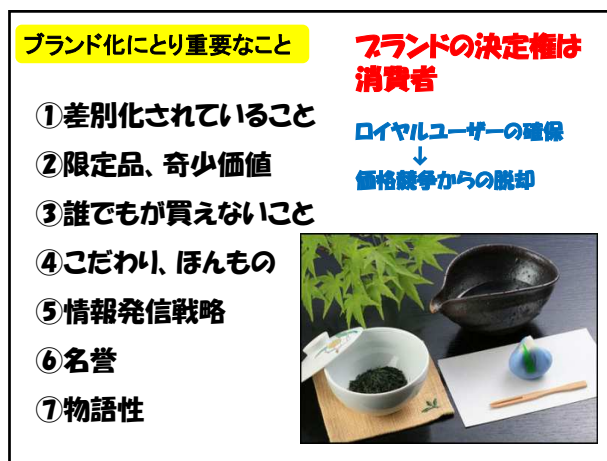
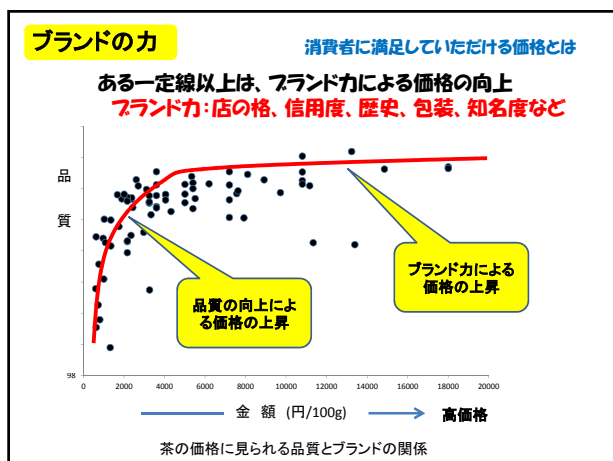
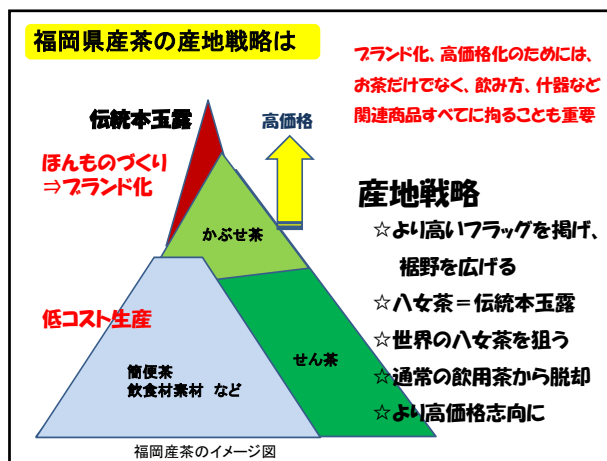
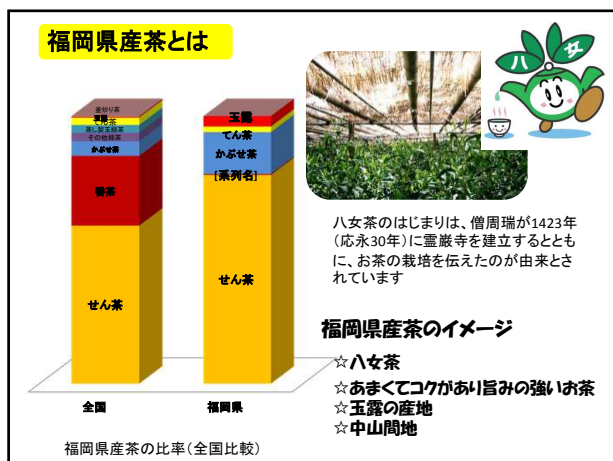
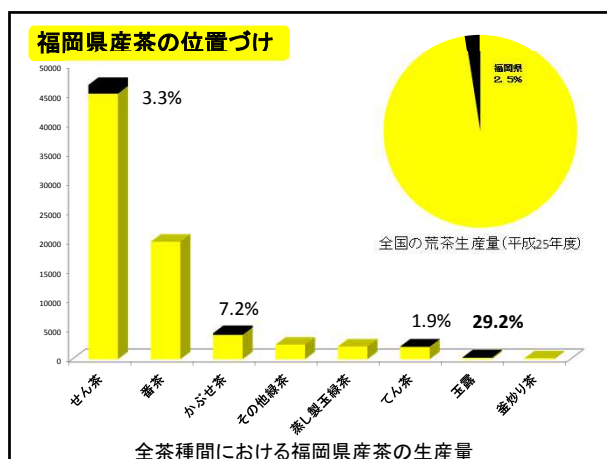
美味しく手軽に飲める茶も必要



購入場所にも変化が







プチ贈答文化を創ろう

高価格茶の要因

- ・物語性があること
- ・こだわりのお茶であること
- ・数量が少ないこと
- ・品質的にも上級であること
- ・販売店の格

高価格茶の戦略

- ・販売店の格づくり
- ・他の商品価格の上昇



324,000円



21,600円/100g



10,800円/100g



10,800円/100g

高級茶の飲用の場を広げよう
～ボトルティは面白い～







☆最高の旨味抽出が可能
☆誰でも同じ味で出せる
☆演出が可能
☆付加価値向上

グリーンティーリズム
本物を体験させる






ふるさと宅配便によるPR **ふるさと納税への対応も**

ふるさと 宅配便

① 5000円 ほうとうセット
② 5000円 漬物セット
③ 5000円 里山セット




6次産業化による付加価値の向上

プロダクトアウト：自社のこだわり(主観)
マーケットイン：消費者の意見・市場調査(客観)

二次元的に考えるのではなく
時代性・トレンド
新しい価値・オンリーワン

6次産業化・地産地消法
(事業内容)
自らの生産等に係る農林水産物をその不可欠な原材料として用いて行う新商品の開発、生産又は需要の開拓
自らの生産等に係る農林水産物等について行う新たな販売の方式の導入又は販売の方式の改善
(経営の改善)
農林水産物等及び新商品の売上高が5年間で5%以上増加すること
農林漁業及び関連事業の所得が、事業開始時から終了時まで向上し、終了年度は黒字となること

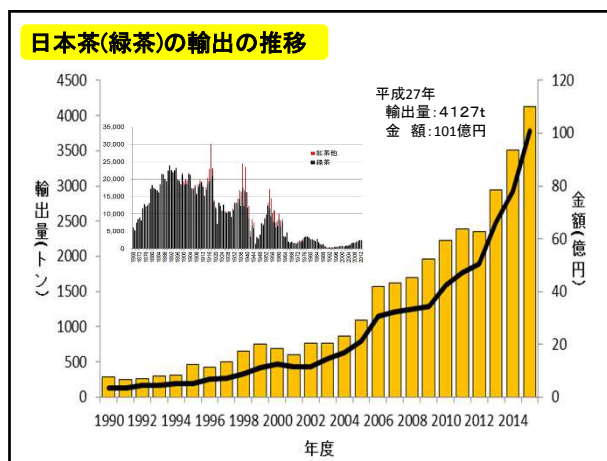
基本的には、ヒトが必要とするものは何でもお金になる

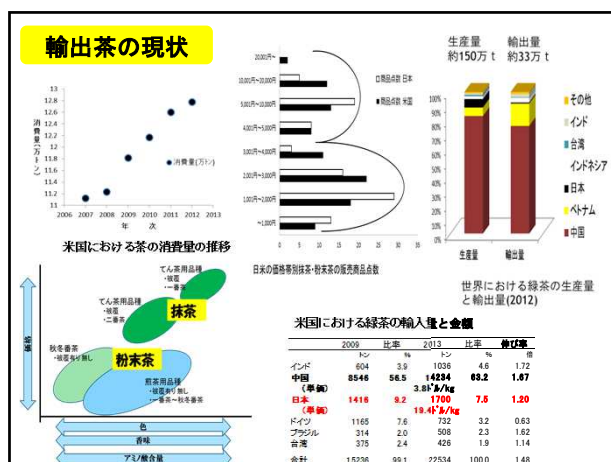
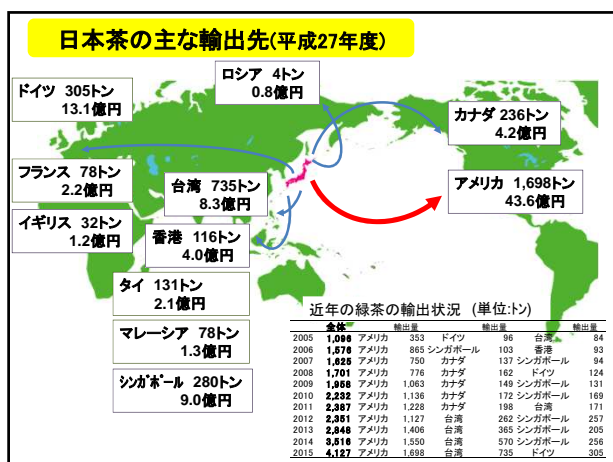
お金にできるかできないかは販売者次第

活かそう!! 地域資源

そうた葉っぱを売ろう

足助の寒茶





地理的表示法の活用

茶には素材が多い

制度の大切

- 「地理的表示」を生産地や品質等の基準とともに登録。
- 基準を満たすものに「地理的表示」の使用を認め、GIマークを付す。
- 不正な地理的表示の使用は行政が取締り。
- 生産者は登録された団体への加入等により、「地理的表示」を使用可。

効果

- 産品の品質について国が「お墨付き」を与える。
- 品質を守るもののみが市場に流通。
- GIマークにより、他の産品との差別化が図られる。
- 新設等の負担なく、自分たちのブランドを築くことが可能。
- 地域共有の財産として、地域の生産者全体が使用可能。

特産 緑茶の幻の銘茶を守り、お届けします

玉露 GI

地理的表示の活用法

地理的表示(ちりてきひょうじ、デロワール)

ある商品の品質や評価が、その地理的原産地に由来する場合に、その商品の原産地を特定する表示である。条約や法令により、**知的財産権**のひとつとして保護される。

どこで作ったかによる差別化。消費者に本山、清水を納得させることが可能か？

地理的表示のイメージ

- (干ば) = 地理的表示
- (地名)

自然的特徴性

気候・風土

結びつく

人的な特徴性

伝統的なノウハウなど

フランスの**ボルドーワイン**(ボルドー産)、イタリアの**ゴルゴンゾーラチーズ**(ゴルゴンゾーラ産)、スイスの**エメンタールチーズ**(エメンタール産)などが狭義の地理的表示にあたる。

地理的表示の活用法

八女伝統本玉露

農林水産大臣登録第〇〇〇号 GIマーク

飲料等類 茶葉(生のものを除く。)

福岡県内 八女伝統本玉露推進協議会

特定農林水産物等の特性

茶葉収穫前に稲わら等の天然資材で被覆することにより「覆い香」といわれる香気成分の含有量が高い茶葉が生産される。味は濃厚で非常にうま味が強く、「まろやか」で「こく」がある。

地域との結び付き

立地条件がもたらす朝夕の気温差が朝霧の発生を促し、うま味成分が多く蓄えられるため、高品質な茶が生産される。稲わら等の天然資材による棚被覆(間接被覆)や自然仕立て、手摘み作業といった生産方法を110年以上守り受け継いでいる。

裾野を広げるためには低コスト・生産力の向上も必要

需要の増加している茶種への対応

⇒ 国内外の競争に勝てる経営への立て直し

機械化の推進

- 優良農地の集積
- 加工コストの削減
- 低コスト生産技術

晩生品種の活用、茶園整備

- 共同管理(施肥、防除、摘採等)
- 工場の効率化、新製造法の導入
- 省エネ・低コスト生産システムの開発

機械化・IT化を駆使した低コスト茶生産システムを構築する

ハンマーナイフモアの活用

高温加湿熱気製造

従来の煎茶工程 220分
新規製造法 80分

低コスト・生産力の向上

低コスト生産技術対応は当たり前
⇒ 更なる大きな変革も必要!!!



品種関係

病害虫抵抗性品種の導入
早晩性品種の導入
減肥対応品種の導入
ポット苗の導入

硝酸化抑制剤の利用
石灰窒素施用

防除関係

交信攪乱フェロモン剤の導入
耐性菌の検定
適期防除

栽培関係

ハマーナイフによる台切更新
濃緑生葉の大量生産
年1回摘採方式の導入
防霜ファンの節電稼働

製造関係

フッ素樹脂加工による清掃労力の削減
センサー利用による自動化
ヒートポンプ、排熱利用による省エネ化

施肥関係

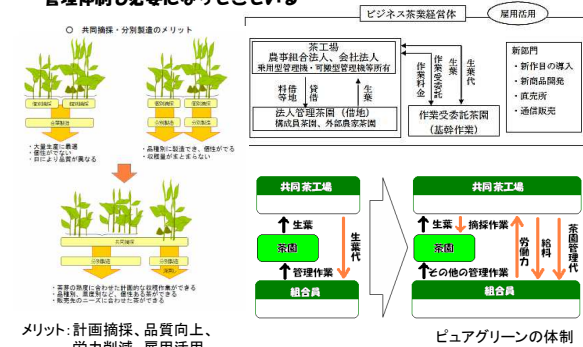
点滴施肥
浅耕施肥
広幅施肥
肥効調節型肥料の利用
雄肥の利用

その他

乗用型管理機導入
経営規模の拡大
労働時間管理
農業機械の共同化

茶工場の経営体質の強化

担い手の減少、遊休茶園の増大、体質強化策として茶園共同運営
管理体制も必要になってきている



物語の素材(地域資源)

差別化要因としての地域資源の掘り起し

- ① 歴史・文化
霊厳寺、玉露 ⇒ 圧倒的な歴史
- ② 自然環境、地形、風土
都市近郊、山間地
- ③ 生産加工方法
栽培方法、加工方法
- ④ 飲み方、愉しみ方
- ⑤ パッケージ、容器、袋



情報、PR(周知が重要)
総体としてのブランド

今後の生きる道は?!?

チャンスを活かし、チャレンジあるのみ!!

・消費者ニーズに適した茶の提供

例：★各世代ごとでは

乳幼児--- 低カフェイン茶、若者--- 爽やか茶、成人--- コクのある茶、老人--- 茶飯事の茶

★飲用シーンごとでは

食事時--- 軽いお茶、ティータイム--- 香味豊かなお茶、アウトドア--- 軽いお茶、職場--- 癒しの茶

・チャレンジし、生き残る商材の創造

例：品種茶、玉露、----

・チャンスを活かす

例：東京オリンピック、和食とのコラボ、海外輸出の増大化、食品の機能性表示



成功事例のKeyword

- ☆ 地域資源のフル活用
- ☆ マーケティング
- ☆ 情熱
- ☆ 少人数
- ☆ やる気

